

令和7年度体力づくり推進計画

<全体計画>

東広島市立川上小学校

様式①

達成目標

- 「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」児童 90%以上
- メディア利用について設定した目標を達成した児童 80%以上

学 校 の 状 況

- ・全31学級（特別支援学級は7学級）、児童数は814名で、児童数が少しずつ減ってきている。
- ・運動場にプレハブ校舎が建っているため、運動する場所の確保が難しい。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・運動習慣によるアンケートによると、男子の運動がやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が6.2%で、女子の運動がやや嫌い、嫌いと答える児童の割合は17.81%である。
- ・偏食や少食の児童も多数おり、食べる量が全体的に少ない。そのため、苦手な野菜や白ごはんの残食が多い傾向にある。

広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- ・昨年度は、新体力テストの中で課題とされていた立ち幅跳びとボール投げを重点的に取り組んだ。
- ・6月に実施した新体力テストの記録を11月に再度挑戦し、6月の記録を上回った児童が立ち幅跳びは71%、ボール投げは59%だった。
- ・立ち幅跳びは、グラウンドの段差を利用して跳躍運動をしたり、休憩時間に遊んだりしたことで71%の児童が自己記録を上回った。しかし、ボール投げでは継続的な取り組みができず、自己記録を上回る児童が少なかった。

実態把握

児童生徒の実態や体力・運動能力調査等から明らかになった課題

- ・男女ともに、ほとんどの種目において全国平均値、県平均値を上回っている。
- ・女子は、「ボール投げ」において全国平均値、県平均値を下回っている。

取組事項

- ① 運動経験を増やす取組
 - ・進んで体を動かせるように体育授業の改善をしたり、家庭で気軽にできる体育の課題を出したりする。
 - ・月に1回「ハッピーデー」（ロング昼休憩）を設定し、積極的に体を動かすように声掛けをする。
 - ・昼休憩に体育館開放を行う。そこでドッジボールやストラックアウトなどの運動を体験し、投げる力を身に付けられるようにする。
- ② メディア利用に関する取組
 - ・メディア利用について、自身の生活を振り返る期間を設定する。
 - ・自身の生活を振り返ったことをもとに目標を立て、目標達成に向けての取組をする

期待される効果

- ① 運動経験を増やす取組
 - ・運動経験が少ない児童が運動をする機会が増える。
 - ・休憩時間に投げる運動をすることで、楽しみながら投力が身に付く。
- ② メディア利用に関する取組
 - ・自身の生活を振り返る期間を設定することで、メディア利用に関する自身の課題に気付くことができる。
 - ・目標に向けて取り組み、振り返ることで、今後のメディア利用について考えるきっかけとなる。

体 制

- ・保健主事、体育主任、養護教諭、各学年部からそれぞれ1名ずつで構成された健康体育部を中心とする。原則、月1回の会議を行う。

令和7年度体力づくり推進計画

<年間指導計画>

東広島市立川上小学校

様式②

達成目標

○「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」児童 90%以上
○メディア利用について設定した目標を達成した児童 80%以上

1月	～3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月
Plan	Do		Check	Action	Plan	Do	Check		Action
結果分析・計画立案		計画に基づき実施		新体力テストの実施 結果分析		見直しと改善計画の立案 計画に基づき実施		評価 見直し・次年度の計画	
【体育科・保健体育科】			表現の学習	水泳		学年体育で新体力テストの課題に重点的に取り組む	陸上運動	持久走	縄跳び
←				投力を高める運動					→
【教科外】		定期健康診断 (身長・体重)	運動会	プール清掃 プール開き 新体力テスト	野外活動 水泳記録会	プール納め	陸上記録会		
←		新体力テスト強化期間		←	水泳強化期間	→	←	新体力テスト課題強化期間	→
							←	陸上強化練習	→
							←	持久走強化練習	→
【日常生活等】					ハッピーデー(各学年月に1回 昼休憩)				
←					体育館開放(各学年6週に1週 大・昼休憩)				→
【家庭・地域との連携】		学校での体力づくり についての取組説明			体育の課題(夏休み) 新体力テスト結果報告				体育の課題(冬休み)